

知的財産推進計画2020における ジャパンサーチの位置づけ



2020年9月10日 デジタルアーカイブ産学官フォーラム（第4回）
内閣府知的財産戦略推進事務局

これまでのデジタルアーカイブに関する取組

知的財産推進計画2017
(2017.5)

知的財産推進計画2018
(2018.6)

知的財産推進計画2019
(2019.6)

知的財産推進計画2020
(2020.5)

未来投資戦略2017
(2017.6)

未来投資戦略2018
(2018.6)

経済財政運営と改革の
基本方針2017」(骨太
方針) (2017.6)

経済財政運営と改革の
基本方針2018」(骨太
方針) (2018.6)

2017

2018

2019

2020

ジャパンサーチ試験版
公開 (2019.2)

ジャパンサーチ正式版
公開 (2020.8)

我が国におけるデジタル
アーカイブ推進の方
向性 (2017.4)

第一次中間取りまとめ
(2018.4)

第二次中間取りまとめ
(2019.4)

3か年総括報告書「我が
国が目指すデジタルアー
カイブ社会の実現に向け
て」 (2020.8)

デジタルアーカイブの
構築・共有・活用ガイ
ドライン (2017.4)

デジタルアーカイブアセ
スメントツール
(2018.4) (2020.8改訂)

デジタルアーカイブに
おける望ましい二次利
用条件表示の在り方に
ついて (2019年版)
(2019.4)

デジタルアーカイブの
ための長期保存ガイド
ライン (2020年版)
(2020.8)

デジタルアーカイブに関
する諸外国における政策
調査 (2018.11)

これからの知財戦略と「知的財産推進計画2020」

価値デザイン社会（2018.6知的財産戦略ビジョン）

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「日本の特徴」をもうまく活用し、様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る社会

Society 5.0（2016.1 第5期科学技術基本計画）

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会



新型コロナ → リモート化、オンライン化、行動変容

ニュー・ノーマル（新たな日常）

実現のための
分野ごとの戦略

知的財産推進計画2019

3
つ
の
柱

脱平均

融合

共感

知的財産推進計画2020

第2章

デジタルトランスフォーメーションの加速

無形資産からの価値創出
（文化産業等の支援）

知的財産の保護と利用のバランス

第3章 イノベーションエコシステム

第4章 クールジャパン戦略

第5章 コンテンツ・クリエイション・エコシステム

5. コンテンツ・クリエイション・エコシステムの構築

(3) デジタルアーカイブ社会の実現

(現状と課題)

デジタル技術の進歩や、IoT等の新しい技術の開発・運用により、デジタルアーカイブの取組が立ち上がった1990年代と現在では、**社会基盤が大きく変貌した。**社会基盤そのものの**デジタル化・ネットワーク化が進む中**で、少子高齢化による人口減少や労働力不足により**コミュニティ維持が困難になる可能性**や、東日本大震災等の巨大災害に加え、台風や火災など、**当時と様相を異にする社会問題も顕在化**している。そうした環境下でのデジタルアーカイブの有用性・重要性は言うまでもない。デジタルアーカイブは、**社会が持つ知、文化的・歴史的資源を効率的に共有し、未来に伝え、現在のみならず将来の知的活動を支える基盤的役割を持っている。**その社会基盤としてのデジタルアーカイブ開発には、持続可能性を念頭に置き、環境負荷をできるだけ小さくすることが求められる。

昨今では、**新型コロナの影響により、テレワークのニーズも急速に高まった。**さらに、自宅滞在時間の増加に伴い、**過去の放送コンテンツ等のデジタルアーカイブ資源の需要が高まっている**との指摘もある。産業界においても急激なDXが進められているところである。これらの社会情勢の変化は、特に**遠隔での様々な活動を可能とする社会の基盤としてのデジタルアーカイブの構築や、デジタル技術を用いてコンテンツを利活用できる環境を整備することの重要性をさらに高めている。**オープンなデジタルコンテンツが日常的に活用され、**様々な分野の創作活動を支える基盤となるデジタルアーカイブ社会の実現を図っていく必要がある。**

我が国におけるデジタルアーカイブの「構築・共有」と「活用」の推進は、文化の保存・継承・発展だけでなく、コンテンツの二次的利用や国内外への情報発信の基盤となる取組である。この取組は充実しつつあるが、その中で重要な情報基盤である分野横断型統合ポータルサイト「ジャパンサーチ」を通して、多様なデジタルコンテンツが、教育、学術研究、観光、地域活性化、防災、ヘルスケア、ビジネスなど様々な分野で利活用されることが期待される。

デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会では、様々な分野におけるデジタルアーカイブの構築・利活用に係る実務的な課題について議論を継続してきた。本年は、昨年取り纏めた「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について（2019年版）」に続いて「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン(2020年版)」を取り纏める。またジャパンサーチの正式版が今夏までに、公開される。

今後は、これらの普及を通して、我が国が保有する多様なデジタルコンテンツをますます拡充させ、さらに広く利活用を推進することが重要である。また、東京2020大会の開催に合わせて、日本文化の海外発信を強化するため、デジタルアーカイブの多言語化や、多様な分野や地域の文化的資源等のデジタルアーカイブとの連携を推進することが期待される。

・デジタルアーカイブの構築・共有と利活用の推進のため、その基盤となる**ジャパンサーチ正式版を公開し**本格運用を開始すると同時に、ユーザビリティの向上のために改善改修を継続しつつ、**持続可能な運営・運用体制の構築を図る。**

(短期) (内閣府、国立国会図書館、関係府省)

・ジャパンサーチの広報及びデジタルアーカイブの利活用促進のために、**産学官フォーラム等**を通して、**利活用者側と構築側の情報共有や意見交換を行う。**

(短期) (内閣府、国立国会図書館、関係府省)

・関係府省と連携しながら、利活用モデルの創出、つなぎ役の役割や支援策、地域アーカイブとの連携、法的規制との調和、多言語化対応等、利活用機会の拡大および課題について検討を行う。

(短期、中期) (内閣府、国立国会図書館、関係府省)

・東京2020大会の開催に向けて、日本文化の海外発信強化のため、日本遺産を構成する文化資源や、国宝・重要文化財以外の地域文化資源に関するデータの集約、画像掲載率の向上、多言語化を含め利活用に資する取組を推進する。

(短期) (文部科学省、関係府省)

・メディア芸術作品の保存・活用に必要な基盤となる所蔵情報等の運用・活用の推進および、各研究機関等におけるメディア芸術作品のアーカイブ化の推進により、情報拠点の構築を支援する。

(短期) (文部科学省)

・マンガ、アニメ及びゲーム等のメディア芸術の情報拠点等の整備を進め、デジタルアーカイブジャパンとも連携したコンテンツ発信の場を創出し、ユーザの相互誘導を推進する。

(短期、中期) (文部科学省、関係府省)

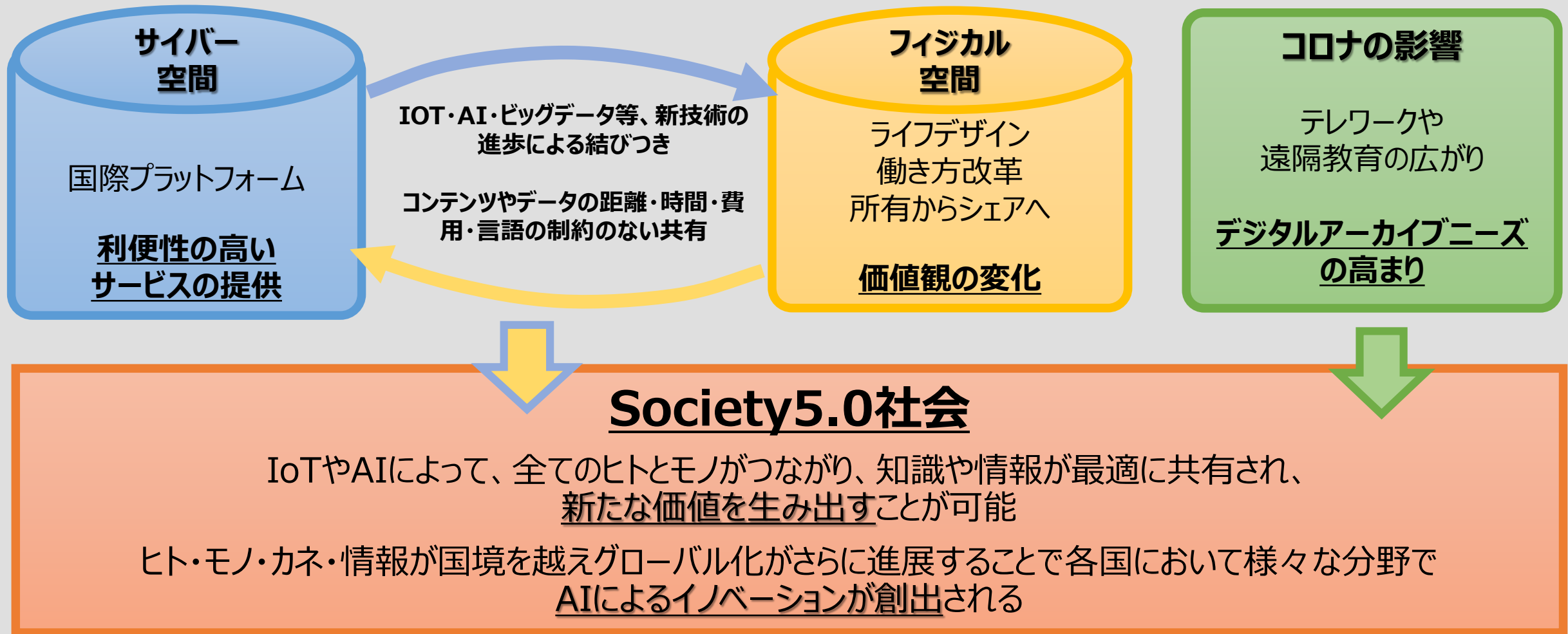
・全国の大学等研究機関の人文学術情報の集約を継続し、人文学分野のつなぎ役としてジャパンサーチとの連携を促進する。

(短期、中期) (文部科学省)

・絶版等により入手困難な資料をはじめ、図書館等が保有する資料へのアクセスを容易化するため、図書館等に関する権利制限規定をデジタル化・ネットワーク化に対応したものとするについて、研究目的の権利制限規定の創設と併せて、権利者の利益保護に十分に配慮しつつ、検討を進め、結論を得て、必要な措置を講ずる。

(短期、中期) (文部科学省)

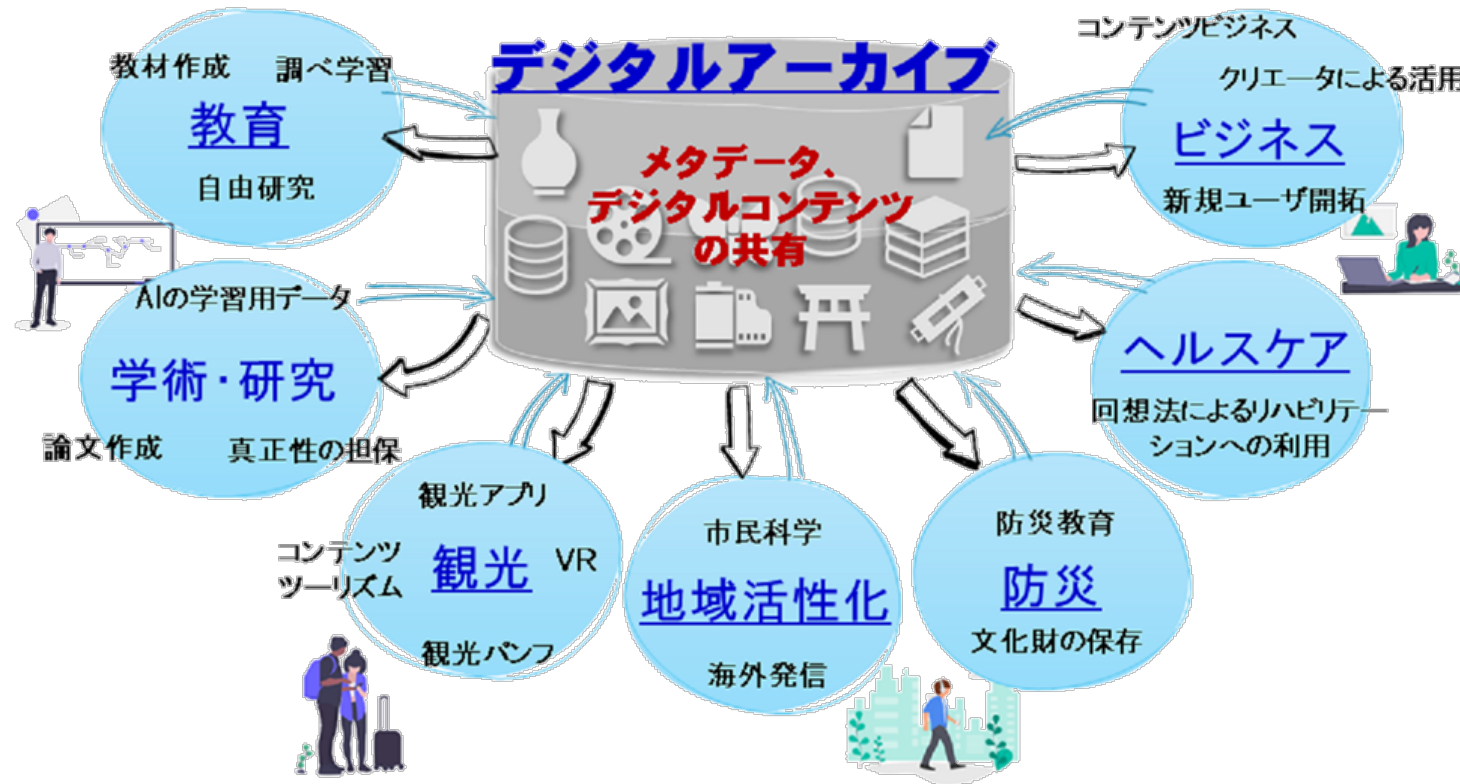
コロナ禍におけるデジタルアーカイブ推進の考え方



知的資産のシェアと利活用により新たな価値を創生する社会基盤としてのデジタルアーカイブジャパン（デジタルアーカイブ社会の実現）を推進

デジタルアーカイブ社会のイメージ

- デジタルアーカイブ社会とは、『オープンなデジタルコンテンツ』が日常的に活用され 様々な分野の創作活動を支える基盤となる社会であり、文化の『保存・継承・発展』だけでなく、観光や地方創生、教育研究、ビジネスへの利用など、新たな価値創出、イノベーション推進に貢献する社会。
- その推進は、コンテンツの二次的な利用や国内外への情報発信の基盤となる取組であり、デジタルアーカイブの構築・共有と活用のサイクルを持続的なものとするにより、様々な用途での利活用を促し、その便益を広く国民のものとしていくことで、我が国の社会的、文化的、経済的発展につなげていくことである。



デジタルアーカイブジャパン推進体制

〈知的財産推進計画に基づき 三つの会議体で運営〉

デジタルアーカイブジャパン推進委員会

工程表の策定
課題の共有・検討
検討委員会の検討事項確定

各種課題の検討要請



検討結果の報告



実務者検討委員会

各種課題の検討
WGの運営・課題の振り分け
ジャパンサーチ運営

全体戦略
ワーキンググループ

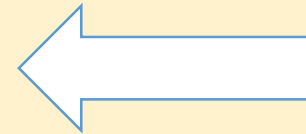
ジャパンサーチ
ワーキンググループ

産学官フォーラム

(目的)
利活用促進
連携強化
事例共有
意見交換

(参加者)
アーカイブ
関係者
関心のある方

意見交換



情報共有



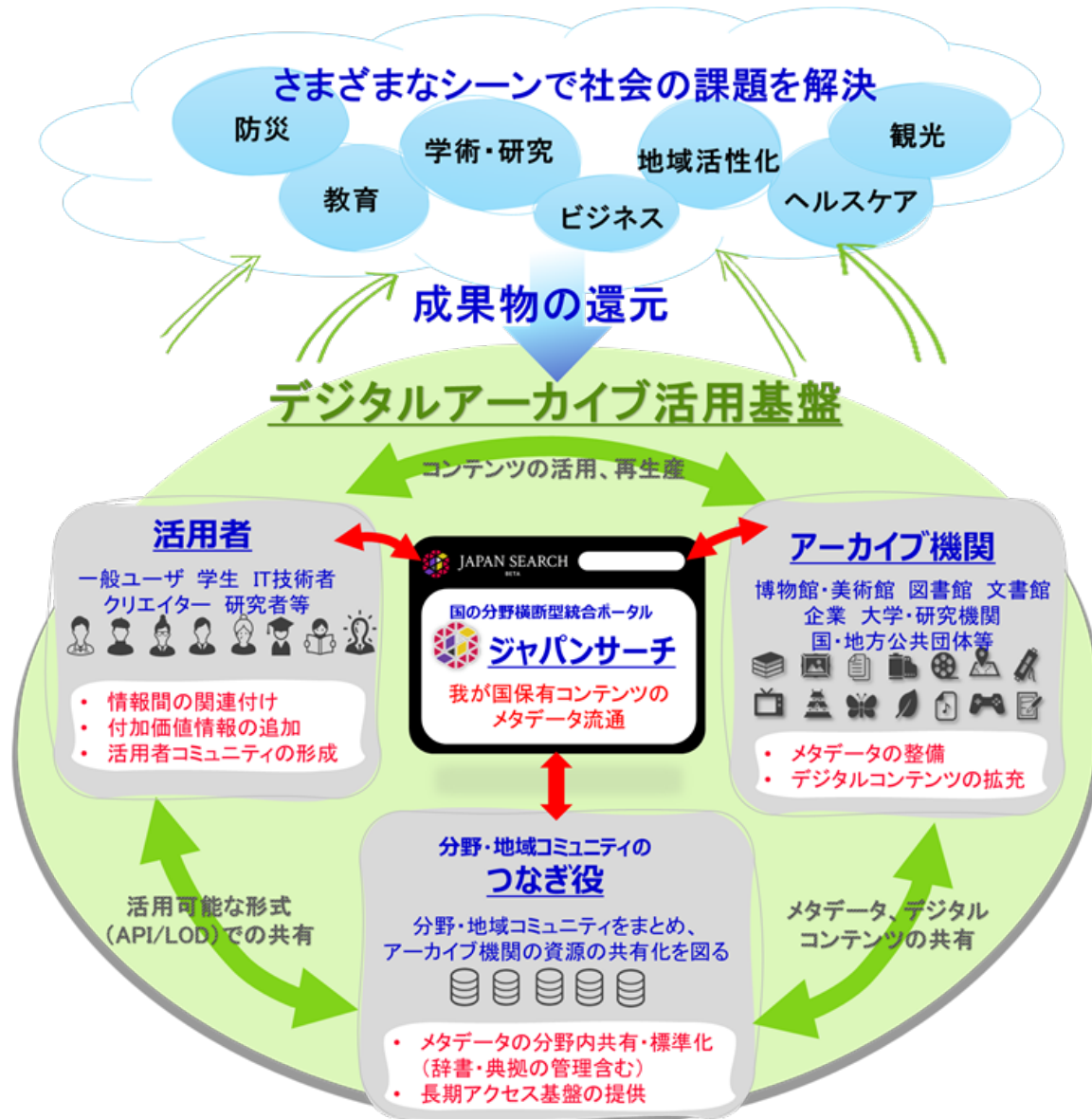
- ▷ デジタルアーカイブジャパン推進員会・実務者検討委員会 3か年総括報告書
「我が国が目指すデジタルアーカイブ社会の実現に向けて」
- ▷ デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン（2020年版）
- ▷ デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について
（2019年版）
- ▷ デジタルアーカイブアセスメントツール

※詳細は、知的財産戦略本部ホームページにて

検索／知的財産戦略本部／デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会／

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/index.html

ジャパンサーチの果たす役割



ジャパンサーチは、

- 我が国の多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索できる分野横断型統合ポータルサイト
- 新型コロナの影響により、様々なデジタルコンテンツのニーズが顕在化する中で、「ジャパンサーチ」を通して、我が国が保有するデジタルコンテンツが、教育、地域活性化、ビジネスはじめ様々な分野での利活用を期待
- デジタルアーカイブジャパン推進政策における基本戦略
- 単なる検索ツールではなく、我が国の知財戦略の一環